

研究だより⑥(SE 公開授業編)

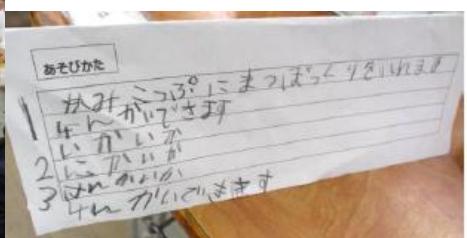
八木小学校 研究推進

11月11日（火）に行われたSE公開授業、みなさん本当に本当にお疲れさまでした！！
授業者のみなさんはもちろんですが、定期的に指導案検討を行いバックアップしてくださった学年及び学年付きの先生方、そして当日や当日に至るまで様々な場面で準備運営などで支えてくださった先生方など、八木小学校の全教職員で取り組んだからこそ、成功を納めることができたと思います！！（＝「同僚性の高さ」ですね。）今はただただ感謝です☆

さて、簡単ではありますが、公開授業当日の授業風景をこの研究だよりにまとめさせていただきました。様子が全て伝わるとは言えないと思いますが、みなさんの頑張りが少しでも多く伝わればと思います。それではどうぞ！！

【1年生】

幼稚園さんとの秋祭りで楽しむおもちゃをお互いに紹介しました。お互いが作ったおもちゃで遊んだ後、感想を付箋に書いて伝えました。お互いに良さを伝えているときに、伝えてもらった子が嬉しそうな表情をしていたのが印象的でした♪



【2年生】

1年生に紹介する動物クイズを作るために、動物のひみつを集めたクラゲチャートから、より具体化するためにフィッシュボーンにまとめる活動でした。クラゲチャートにびっしり書かれた動物に関するひみつがすごかったです♪たくさん選択肢があるからこそフィッシュボーンへの移行もスムーズに出来ていた印象があります。また、図書資料を傍に置いて、いつでも確認できる環境づくりもステキでした！



【3年生】



公開授業当日は学級閉鎖により残念ながら実施できませんでした…。

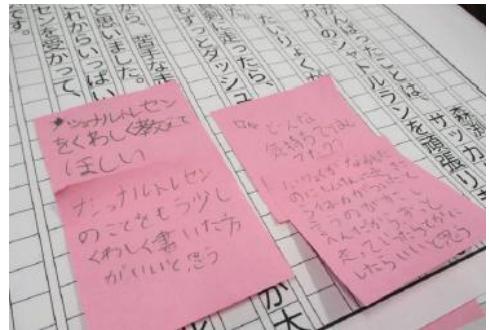
万博に絡めた重さに関するパビリオンを回るという学習を経て、最後に「学習したことを使って重さクイズを作ってクラスのみんなに紹介し合うというゴール」を設定し活動を進めました。

先行授業行った3-2で、先日クイズを紹介し合う活動を行ったので、ここで一部紹介します。
(本時はクイズを作ることが中心で、上の写真は以後の活動です。あしからず…。)

【4年生】

自分の書いた作文を「より自分の言いたいことや気持ちが相手に伝わるように」アドバイスをし合って構成する活動を行いました。アドバイスを「指摘」ではなく「進化」と肯定的なイメージとして浸透させることで、互いの書いた作品を尊重する雰囲気づくりがよかったです！

プレ授業を受け、『文字のまちがい』だけではなく、『文章表現の工夫』により意識を向けて子どもたちが付箋に書いていたのが「ブラッシュアップ♪」と感じました。



【5年生】

岸和田万博「八木自動車館」のスタッフになって、グループごとに「伝える相手」「内容」を決め、それに応じた台本を考える活動をしました。役割分担を行い、自分の担当がしっかり決まることで『当事者意識』を高め、子どもたち一人一人が資料をもとに台本作りに向き合っていました。1学期からプレゼン形式の授業を数多く経験してきたことが、この活動の中にも表れていたように感じました。



岸和田万博～八木自動車館～	名前（）	岸和田万博～八木自動車館～	名前（）
伝える内容 お客様のための工夫	調べた内容 ☆伝える内容を読めたら、そのことについて本やインターネットで調べ、メモに書く ☆お客様のための工夫・効率よく作業するための工夫	伝える内容 お客様のための工夫	調べた内容 ☆伝える内容を決めたら、そのことについて本やインターネットで調べ、メモに書く ☆お客様のための工夫・効率よく作業するための工夫
～エネルギー～	～地球～	～エネルギー～	～地球～

【6年生】

「地層はどのようにできているのか」を、実際に子どもたちの実験から考察して迫る活動でした。「使用する水槽の種類」「流す土の種類」「土を流す回数」「土を流す角度」を全て子どもに委ね、委ねたからこそ起こる様々な結果の中から共通項があることに気づかせる環境設定がこの子たちに合っていたように思いました。普段は書くことに苦労する子たちが盛んに付箋に書いている様子が、この教材設定の良さ（+西井Tの血の滲む努力）なんだろうなと考えさせられました。



【全体会】

藤原先生の勇姿を写真に納めるのを失念していました…申し訳ありません…この場で謝罪いたします…。

八木小学校の取り組み、学年の取り組み、討議会、柳田先生のお話など、盛りだくさんの全体会となりました。



なお、今回の研究だよりでは紹介できませんが、討議会のまとめは後日、改めてみなさんにも紹介できればと思います。

（むすびにかえて）

SE 公開授業を終え、みなさんホッとしていることだと思います。ただ、SE 授業で行った単元はまだ残っている学年も多いと思います。子どもたちが『書きたい・やりたい！』という意欲を最後まで持ち続けることができるといいですね♪また、そうした子どもたちの『書きたい・やりたい！』が『書いてよかった・やってよかった！』『だから次も書きたい！・やってみたい！』と思えたなら最高ですよね☆

今年度もあと4か月。今後もどこかの教科・単元で「また図書資料を取り入れた活動に取り組んでみようかな～？」と先生方に思っていただけると幸いです。

文責：梅山